

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年9月6日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【3号機原子炉建屋南東コーナーの滞留水水位計の動作不良について】 3号機原子炉建屋南東コーナーに設置している滞留水水位計の指示値に水位低下を確認。 現場確認の結果、水位計※の水位測定に用いる圧縮空気を送り出す水位計用空気圧縮機(A)の動作不良を確認。 水位計の水位測定用圧縮空気を水位計用空気圧縮機(B)からの供給に変更し水位測定を継続中。 今後、空気圧縮機を交換予定。 ※水位計は、気泡式であり、水位測定部にチューブを入れ一定量の空気を送り込み、チューブ内の空気圧を検出し水位に換算するもの。</p>	GⅢ	9月1日
2	<p>【公開済み分析データの入力誤りについて】 ホームページで公開済みの分析データ「サブドレンサンプルタンク(3か月加重平均試料分析)第1四半期」に入力誤りを確認。 今後、当該データの訂正予定。 周辺にあたる影響はなし。</p>	GⅢ	9月3日
3	<p>【1/2号機排気筒解体工事用クレーンからの油の滴下について】 2号機原子炉建屋西側において、1/2号機排気筒解体工事で使用している750トンクローラクレーン下部から油の滴下を確認。 確認の結果、エンジンの燃焼室から漏れたガスに含まれる気化したエンジンオイルが液化し、滴下したものであり、故障によるものではないことを確認。 対策として、油滴下箇所に受け容器と吸着マットを設置済。 なお、消防にて「車両からの油漏れ事象」と判断。</p>	GⅢ	8月31日
4	<p>【1/2号機排気筒解体工事における筒身解体装置用副発電機への切替時の不具合について】 1/2号機排気筒解体工事における頂部ブロックの筒身切断作業において、作業時間の延長により筒身解体装置用電源の主発電機が燃料切れとなったため、副発電機を遠隔操作で起動を実施したが、切り替えが出来なかった。 原因は、電源切替盤の動作不良と推定。今後の対策を検討中。 なお、当該筒身切断作業は、主発電機に給油を実施し、作業を継続。</p>	GⅢ	8月31日
5	<p>【1/2号機排気筒解体工事における筒身解体装置のドリルシャックリングの動作不良について】 1/2号機排気筒解体工事における頂部ブロックの筒身切断作業において、筒身解体装置のドリルシャックリング※4台中、1台の動作不良を確認。 原因は、ドリルシャックリングの過電流により保護装置が動作したことと判明。 今後、保護装置の動作設定値の見直しを行う。 なお、ドリルシャックリング4台中の2台で解体部材を支持可能であり、頂部ブロックの筒身切断作業は、ドリルシャックリング3台で実施し、完了。 ※ドリルシャックリング:内周切断装置に付属し筒身内から解体部材を支持する装置</p>	GⅢ	9月1日
6	<p>【5/6号機淡水化装置取水ポンプ(N)の流量不足について】 5/6号機淡水化装置取水ポンプ(N)の試運転において、吐出流量が規定流量を満たさないことを確認。 原因は、ポンプ設計の際、吐出側配管内の減圧弁の圧力損失を考慮していなかったため全揚程が不足したものと推定。 今後、対応を検討予定。</p>	GⅢ	9月2日